

「住民の力による健康づくり

～インドネシア地域保健プロジェクト報告」

2010年9月4日(土) 15:00～17:00

参加費: HANDS会員:無料、一般:500円(当日支払)

会場: 国際協力機構研究所(JICA研究所) 国際会議場

水タンクが
できたよ!



今年2月に終了したJICA「インドネシア共和国南スラウェシ州地域保健運営能力向上プロジェクト」では、住民参加型の地域保健プロジェクトとしては画期的でユニークなボトムアップモデルを開発しました。国際開発センターとHANDSが共同で実施した本プロジェクトは、少額の資金を120以上のコミュニティに提供して、各々の住民が使い道を自ら決め、そして管理も行うというもので、3年間で延べ2万人以上が直接活動に参加し、各地で様々な保健改善活動が展開されました。

どのようにして予想を上回るほどの盛り上がりを見せるプロジェクトへと発展したのか、リーダーの川原恵樹氏はじめ3名のプロジェクトメンバーが報告致します。

プログラム

- 15:00 挨拶・HANDS活動紹介
- 15:10 講演「プロジェクトの概要と成果」
川原恵樹氏 一般財団法人国際開発センター (IDCJ) 研究主幹/
プロジェクトリーダー
- 15:50 講演「住民から見たプロジェクト
～人びとの声と行動の変化」
八田早恵子 HANDSプロジェクトオフィサー/
プロジェクト専門家
- 16:10 休憩
- 16:20 講演「住民による健康づくりの
意義と可能性」
中村安秀 HANDS代表理事/
大阪大学大学院教授/
プロジェクト専門家
- 16:30 質疑応答
- 17:00 閉会

講師プロフィール

川原恵樹氏：1983年慶応義塾大学法学部卒業。ニューヨーク州立大学公共政策大学院にて公共政策修士取得。1986年より国際開発センターにて公共経済・地域経済分析を専門とするエコノミストとして、途上国を対象とした数多くの地域開発計画プロジェクトや技術協力プロジェクトに携わる。近年では、経済開発分野に加えて、保健、教育、社会保障等の社会開発分野にも活躍の場を広げる。2007年より同センター研究主幹。

中村安秀：1977年東京大学医学部卒業。都立府中病院小児科などを経て、86年から国際協力機構（JICA）の母子保健専門家としてインドネシアに赴任。以後も、パキスタンでアフガン難民医療に従事するなど、途上国の保健医療活動に積極的に取り組む。ハーバード大学公衆衛生大学院研究員、東京大学医学部国際地域保健学助教授を経て、99年10月より大阪大学大学院教授。

八田早恵子：静岡県立大学大学院卒業（看護学修士）。看護師として日本の病院勤務後、青年海外協力隊、JICA調査団員、青年海外協力隊シニア隊員などで長年インドネシアや東ティモールの活動に従事。2007年2月より、HANDSインドネシアプロジェクト専門家。

会場: 国際協力機構研究所 (JICA研究所) 国際会議場

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5

JR中央線・総武線「市ヶ谷」徒歩10分

東京メトロ有楽町線・都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」A1番/4番出口徒歩10分

東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」6番出口徒歩10分



申し込み&問い合わせ

セミナーのお申込みは下記よりお願いします

<http://www.hands.or.jp/>
(Email: seminar1009@hands.or.jp)

特定非営利活動法人HANDS (担当: 安藤・網野)
東京都文京区本郷3-20-7 山の手ビル2階
TEL: 03-5805-8565